

このままでは、西宮市は破産するかもしれません

本市の財政は、危機的な状況にあります。

なんとかして、この厳しい状況を乗り越えなければなりません。

■一年で大きく変わった財政予測

市は、本市財政の現状と今後の予測を示すため、「西宮市財政の現状 ～西宮市の財政を考える～」

(以下、「財政の現状」)を毎年2月に公表しています。昨年、市は、今後の本市財政について

○2010年度以降、一時的に財源不足が発生

○2013年度に財源不足は解消

○以後、財政状況は健全化

という予測を示しました。ところが、今年2月に公表された最新の「財政の現状」が示す予測は

○2010年度以降、財源不足が継続・拡大

○2013年度時点で財源不足は138億円

○その後も財政状況は悪化

と、昨年とは大幅に異なっています。本市は、財源不足額が178億円を超えると赤字債権団体になる(=実質的な倒産)とされています。新たに

示された「財源不足138億円」という予測は、将来の財政破綻を連想させる、衝撃的な数字です。

■なぜ、ここまで変わったのか？

市は、今回の大幅な見直しを世界的な経済危機の影響によるものとしていますが、原因はそれだけではありません。例えば、昨年の予測は

○人件費は毎年大幅に削減

○市税収入は毎年約2%増加

等の前提に基づいて作成されました。人件費を大幅に削減するためには、計画的な取り組みが必要です。ところが、そのための具体的な計画は示されず、取り組みも行われませんでした。また、

市税についても、

○景気の低迷

○団塊の世代の集中的な退職

○非正規雇用の拡大による平均収入の減少等、多くの減収要因が存在しており「毎年約2%増加」という前提は楽観的過ぎるものでした。私は、

わずか一年で、財政予測が大幅に修正された最大の原因は、こうした前提に基づいて予測が作成されたことにあると考えています。

■西宮市を破産させないために！

一方、最新の「財政の現状」で示された予測にも多くの問題が存在します。例えば、

○今後も税収は減少しないと想定している

等、収入予測が依然として楽観的な点。また、

○JR西宮駅前施設(フレンテ)からのコープ撤退問題に関連する費用

○多数存在する老朽化施設の改修・改築等に必要費用

等、将来の発生が確実視される支出が想定されていない点があげられます。このままでは本市は、「財政の現状」で示された予測以上の厳しい状況に陥ることも危惧されるのです。万一、財政破綻することがあれば、「市民に対して適正なサービスを提供する」という行政の最低限の義務さえ果たせなくなります。こうした事態に陥ることのないよう、**事業の取捨選択を進め、重要課題に集中的に取り組む等、厳しい現状を踏まえた抜本的な対策を進めるよう要望してまいります。**

澁谷 祐介：西宮市議会議員／二期目

■昭和48年12月26日生まれ。B型・山羊座。

■市立浜脇小・浜脇中・私立明星高・京都大学経済学部卒業。

■平成8年4月より平成16年8月まで阪急電鉄株式会社勤務。

書店ブックファースト・アズナス(コンビニ)等、小売事業を中心にキャリアを積む。

■平成16年11月、西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。現在二期目。

■好きな言葉：一利を興すは一害を除くに如かず

■好きな作家：司馬遼太郎

■尊敬する人物：織田信長

しづや祐介事務所：〒662-0927西宮市久保町1-16-202/e-mail:shibuya@room.ocn.ne.jp

>>>more!

”しづや祐介”

<http://y-shibuya.blogzine.jp/blog/>

↑こちら↑で、日々の詳しい活動のご報告や政策を、ご覧いただけます。ぜひ、ご覧下さい。

西宮市議会議員

しづや祐介

市政報告・第17号×2009年4月

私たちが暮らす、
西宮の未来のために。

浜脇小・浜脇中・明星高・京都大学卒
元阪急電鉄(株)勤務 / 行動する政治/

TOPICS&CONTENTS

～今号の目次&内容～

◆学童・開所時間延長問題/
約束が破られました。。。

◆人事・給与制度について/
制度の抜本的改革を！

◆生活保護について/
制度の適切な運用を！

◆保育所の待機児童解消/
「子育てするなら西宮」実現を！

◆証明書自動交付機/
費用対効果の十分な検証を！

◆財政状況のご報告/
西宮市は破産してしまうのか？

学童の開所時間延長について

「4月以降、全学童の開所時間を午後6時まで延長」という約束が、一方的に破られてしまいました。。。

■これまでの経緯

私は、これまで留守家庭児童育成センター(以下、学童)での

○障害を持つ高学年児童の受入

○全学童の開所時間延長

を実現するため、運営上の課題の洗い出し・改善策の提案を行ってきました。その結果、昨年「障害を持つ高学年児童の受入」「一部学童での、午後6時までの開所時間延長」が実現しました。また、市は一昨年の12月議会において、

2009年4月1日までに全学童の開所時間を午後6時まで延長することを約束。市から委託を受けて、

ほぼ全ての学童を運営する社会福

祉協議会のホームページでも広報

しました。ところが市は、2月になっ

てから、開所時間延長の中止を一

方的に決定・通知してきたのです。

■延長の実現に向けて

市は、開所時間延長を取りやめた上、今後の方針も示していません。私は、学童の開所時間を

○働く保護者の多くは、午後6時までに子供を迎えに行くことが困難

○公立保育所は全園、午後7時まで子供を預かっている

という現状を踏まえ、午後7時まで延長するべきだと考えています。今一度、学童の開所時間延長の実現に向けて取り組んでまいります。